

Case : 9

ブレーキの効きが悪くなり、移乗時に転倒しそうになる

場面の説明

ブレーキの効きが悪くなっているため、ベッドからの移乗時に、車いすが後方へズレる



利用シーン	 移乗
主な利用場所	 寝室
	 リビング・居間
	 ダイニング・食堂
介護保険の種目	 車いす
分類コード (CCTA95)	122106 (後輪駆動式車いす)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

重傷事故が多く報告されている事例です。車いすが動いてしまう要因には、ブレーキの調整不足、タイヤの空気圧の低下、タイヤの磨耗などが考えられます。また、ベッドの柵（サイドレール）を手すり代わりに利用することも適切ではありません。ベッド用グリップの利用をお勧めします。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：ブレーキの効きが悪いことに気づかない
- 人：そもそもひとりでは安全に移乗できない人であった
- 管理：タイヤの空気圧や磨耗などの定期的な確認をしていなかった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 9

ブレーキの効きが悪くなり、移乗時に転倒しそうになる

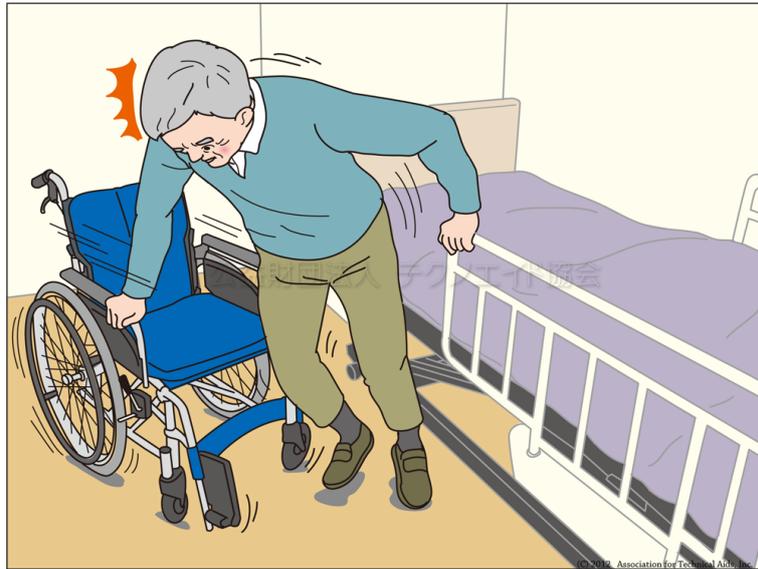
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

ブレーキの効きが悪くなっているため、ベッドからの移乗時に、車いすが後方へズレる



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ